学校番号	１０８

令和８年度　理科

教科	理科	科目	文系生物演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	改訂版　リードLightノート生物（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物基礎の「植生の遷移」「バイオーム」「生態系」の内容に加え、生物で学習する「遺伝情報の発現と発生」「動物の反応と行動」を学習します。生態系や生物の体のしくみ、発生の過程に興味を持ちながら受けてもらいたいです。分からないことがあれば質問してください。実験も行うので、協力しながら取り組んでください。

2　学習の到達目標

生物演習の学習を通して、種々の生命現象に関する知識の幅を広げ、関心を持ち、探求しようとする資質・能力を次の通り育成することをめざす。

(1) 植生の遷移、バイオーム、生態系、動物の反応と行動、生命の起源と進化などについて、習う語句やその意味、様々な働きや仕組みなどを正しく理解する。

(2) 上記で身につけた知識を判断材料として、生物に関する記述や内容について思考・判断したり、自らの考えを表現できるようにする。

(3) 主体的に生物演習の学習活動に取り組み、体内で行われる生命現象、生物、環境について理解を深め、視野を広げることで生物に対する興味・関心を高める。その結果、自身の健康や生き方、生命に対する親しみ・敬いの感情を高め、生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生命現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	生物や生命現象について、学んだ知識をもとに思考・判断し、自分の考えを適切に表現することができる。	生物や生命現象に対する興味・関心をもち、主体的に学ぼうとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の多様性と生態系	植生と遷移 ・植生とその環境 ・植生の遷移 ・遷移とバイオーム	a：植生の遷移の種類と流れ、世界のバイオームの種類と特徴、日本のバイオームなどについて理解している。 b：植生の遷移の種類と流れ、バイオームの種類と特徴などについて判断したり、説明することができる。 c：植生の遷移、バイオームの種類などについて興味を持ち、積極的に授業に参加し、課題に取り組んでいる。	**定期考査 小テスト**	**定期考査 小テスト**	**提出物 振り返り**
		生態系と生物の多様性 ・生態系における生物の多様性 ・生態系における生物間の関係 ・生態系と攪乱 ・生態系の保全	a：生態系の多様性と物質循環、生態系の攪乱の例について理解している。生態系の保全について現在実施されている例などを理解する。 b：生態系内の物質循環のしくみなどについて判断したり、を説明することができる。 c：生態系と物質循環などについて興味を持ち、積極的に授業に参加し、課題に取り組んでいる。	**定期考査 小テスト**	**定期考査 小テスト**	**提出物 振り返り**
2学期	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子発現 ・動物の配偶子形成と受精 ・ウニの発生 ・カエルの発生 ・カエルの発生と遺伝子発現	a：配偶子形成の過程、ウニやカエルの発生の過程、胚葉の分化、遺伝子発現と誘導などについて理解している。 b：配偶子形成の過程、ウニやカエルの発生の過程、胚葉の分化、遺伝子発現と誘導などについて判断したり、説明することができる。 c：配偶子形成の過程、ウニやカエルの発生の過程、胚葉の分化、遺伝子発現と誘導などについて興味を持ち、積極的に授業に参加し、課題に取り組んでいる。	**定期考査 小テスト**	**定期考査 小テスト**	**提出物 実験 振り返り**

3学期	動物の反応と行動	ニューロンとその興奮 ・刺激の受容から行動まで ・ニューロンの構造 ・ニューロンの興奮 ・興奮の伝導と伝達 刺激の受容 ・受容器と敵刺激 ・視覚器 ・聴覚器・平衡受容器 ・化学受容器 情報の統合 ・神経系 ・中枢神経系 ・末梢神経系 ・反射 刺激への反応 ・筋肉の構造と収縮 ・その他の効果器 動物の行動 ・動物の行動とその連鎖 ・いろいろな生得的行動 ・学習と記憶	a：ニューロンの構造、興奮の伝導と伝達、受容器の種類と適刺激、神経系、反射のしくみについて理解している。 b：ニューロンの構造、興奮の伝導と伝達、受容器の種類と適刺激、神経系、反射のしくみなどについて判断したり、説明することができる。 c：ニューロンの構造、興奮の伝導と伝達、受容器の種類と適刺激、神経系、反射のしくみなどについて興味を持ち、積極的に授業に参加し、課題に取り組んでいる。 a：筋収縮のしくみ、生得的行動、学習の種類などについて理解している。 b：筋収縮のしくみ、生得的行動、学習の種類などについて判断したり、説明することができる。 c：筋収縮のしくみ、生得的行動、学習の種類などについて興味を持ち、積極的に授業に参加し、課題に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 実験 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度